

邑南町にみる

関係人口と協働するまちづくり

島根県邑南町

町長 石橋良治

2022年10月11日

「観光」やめます。「関係」はじめます。

「観光」やめます。「関係」はじめます。

邑南町の新しい観光戦略（2020年）のタイトル

「観光」→一方的なおもてなし

地域によっては人口減少、高齢化が進む中、オーバーツーリズムによる住民の「もてなし疲れ」も。

「関係」→住民との協働を楽しむ

住民と一緒に楽しみながら、課題解決や活性化に取り組み、繰り返し訪れる人(関係人口)を増やす。

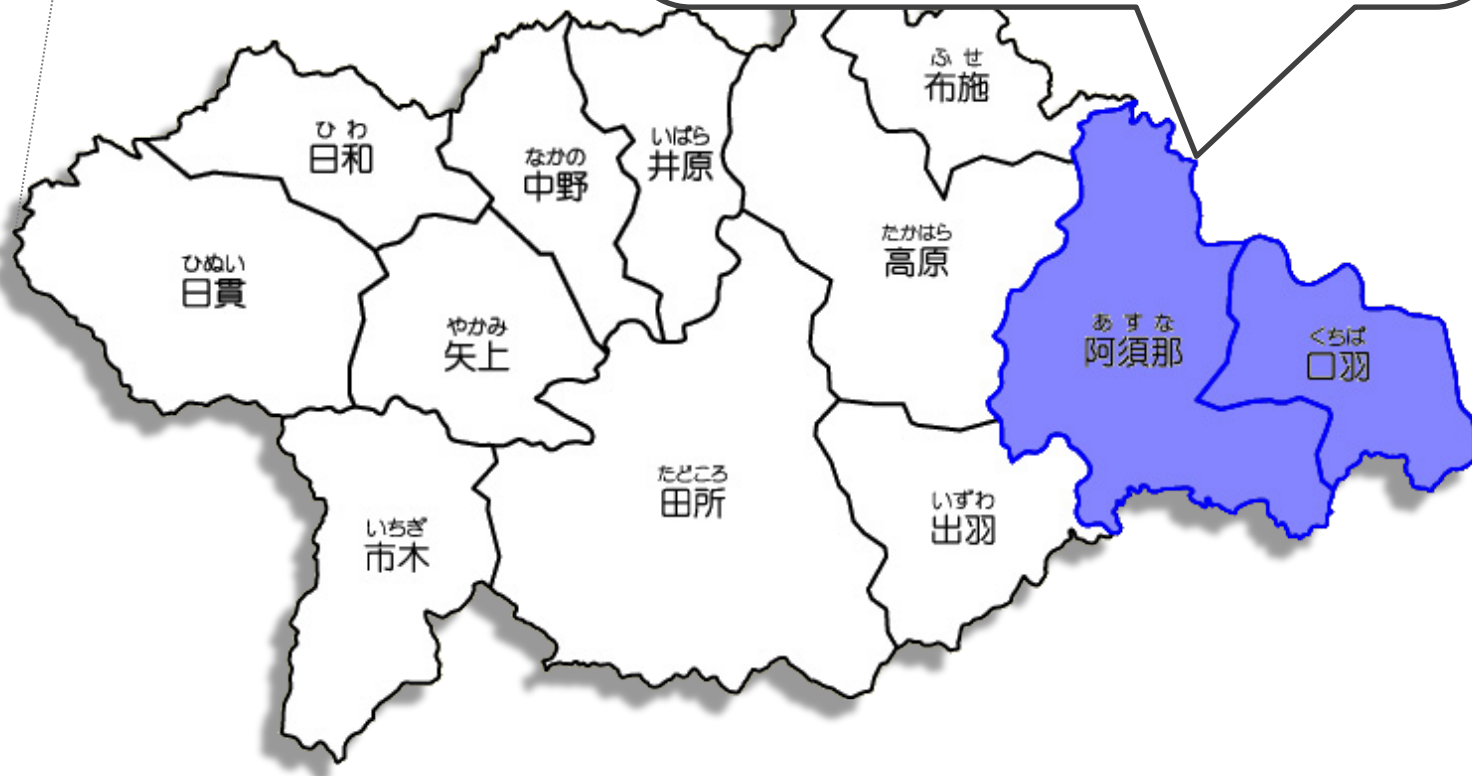
「関係人口」に着目する
きっかけはＪＲ三江線の廃線
（邑南町羽須美地域）

島根県 邑南町 羽須美地域とは



島根県邑南町

羽須美地域
(旧羽須美村)

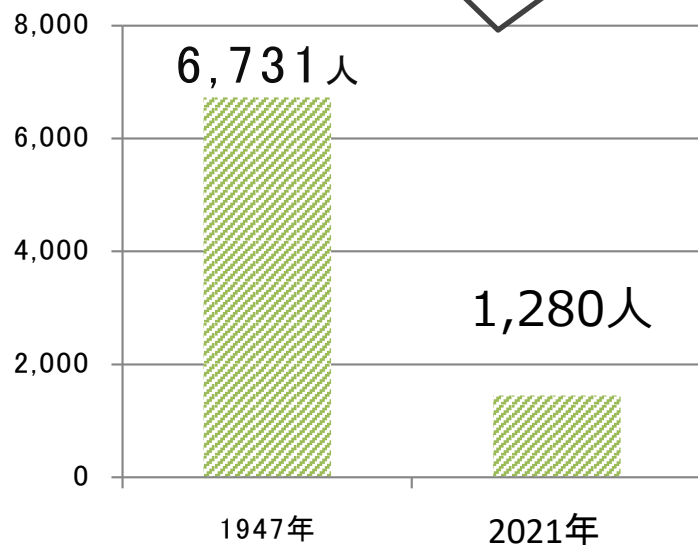




高齢化と人口減少が続き、 地域の担い手が不足

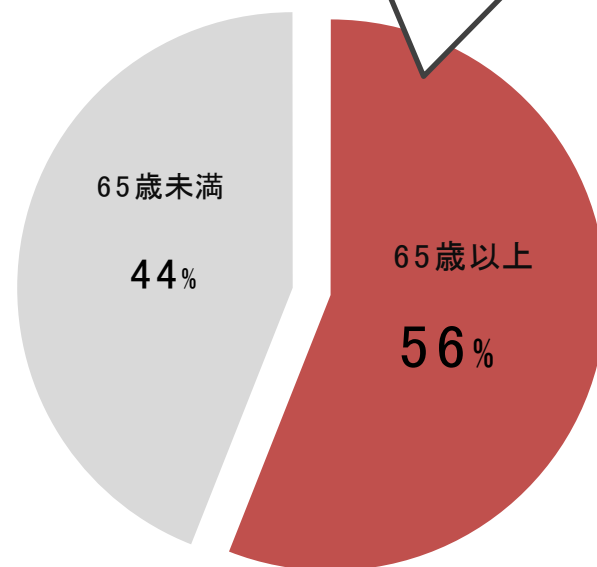
1947年→2021年

81%減



高齢化率

56%



地域にダメージを与える

JR三江線の廃線 (2018年3月31日)

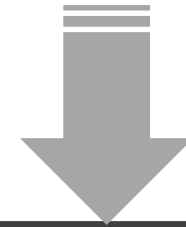


地域内外をつなぐ重要な交流インフラが消失

全延長108km35駅、放置すれば負の遺産



廃線決定後、
乗客が急増。
その中に住民
を支援する
外部人材



廃線後、関係人口(鉄道ファン)を
巻き込んだ鉄道資産活用の機運

NPO法人江の川鐵道が設立

- ・ 廃線直後の2018年5月設立
- ・ 三江線沿線の住民、
三江線ファン18人で設立
- ・ 現在 正会員 28人
協力会員 60人
賛助会員 12団体



鉄道や三江線が大好きな人たちが集まり、
トロッコ運行を目指す団体

2017年度、町「羽須美振興推進室」を設置

2018年度、総務省
「関係人口創出事業」
モデル事業に採択

「はすみファンと創る地域」事業



廃線跡地の活用



鉄道資産を活用した
実証実験の実施には、
多くの知恵と
マンパワーが必要。

廃線跡地を活かした観光で
賑わいを創出できるか？

関係人口を巻き込んだ協働活動の実施

トロッコの運行実験を15日間実施

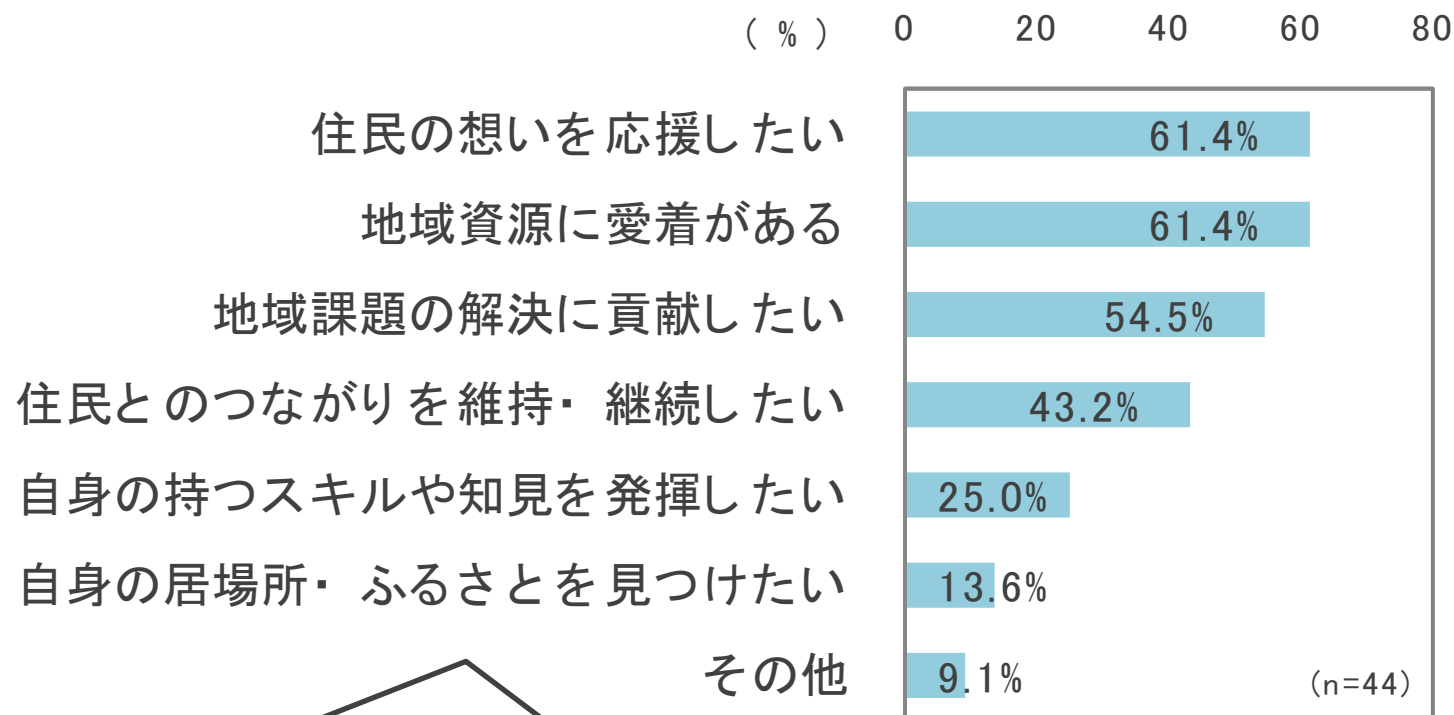
鉄道ファンを中心に25人（のべ89人）が運営に参加



関係人口の存在が地元団体の後押しに

羽須美地域（三江線）に関わる動機の確認

（協働活動参加者アンケート調査より）



課題解決（廃線後の活用）

× 関係人口（鉄道ファン）

= 地域の持続性の高まり

関係人口を巻き込んだ取り組みで 廃線跡活用で賑わい創出に成功！



廃線、団体設立から4年。さらに活動の輪が広がっています。



成果①関係人口の増加→観光客の増加

- ・高齢化の進展の中、観光事業拡大を持続的に実現
- ・訪れた観光客から、関係人口に加わる人も出現

地元コアメンバー(10人)

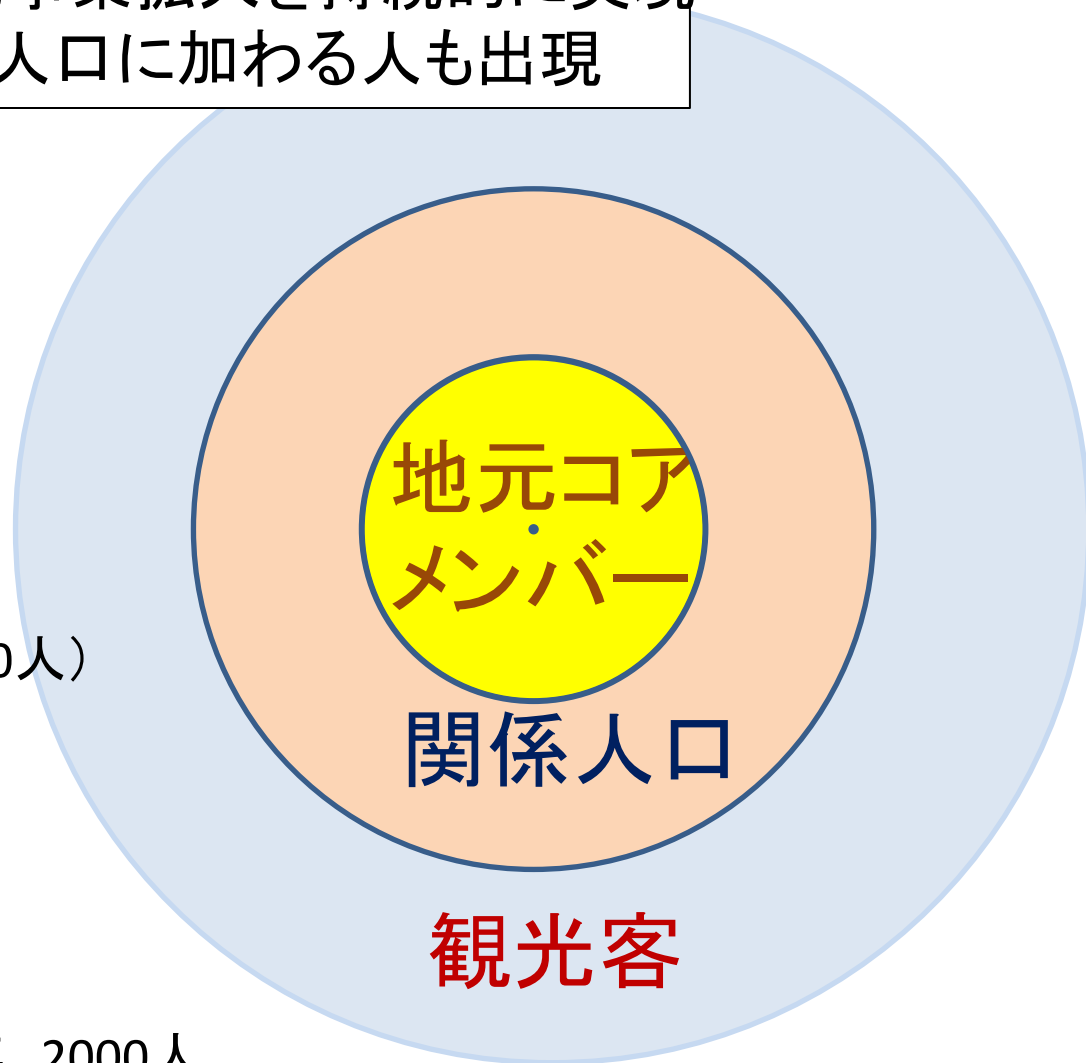
関係人口に支えられて
高齢化の中で活動持続

関係人口

活躍の場が拡大、頻度増加
現地支援型(15人→35人)
江の川鐵道会員数(20人→100人)
ふるさと納税(340人)

観光客

関係人口と共に過疎地から
起こす逆転の物語に共感
年間 2018年 500人→2021年 2000人



成果②事業の継続でトロッコも進化

- ・乗車料金や寄付、会費等でトロッコ型車両2台を新造
- ・性能向上 2018年定員3人→2020年6人→2022年10人



2018年
初代トロッコ
(乗客3人)



2019~2020年
2代目「チモハ」号木製
トロッコを連結(定員6人)



2021年
2号車が完成し、連結及び総括制御が
可能になり、パワーが2倍に！

7月から3両体制(定員6人→10人)に



成果③ふるさとと納税による支援の輪の拡大

- ・ふるさと納税型CFで 340人から816万6,000円が集まる
- ・内訳は、会員+町民、関係人口+乗車経験者+鉄道ファン+出身者
- ・支援の輪の広がり、乗車定員は6人から20人へ(2022年秋予定)

ふるさとチョイス
ガバメントクラウドファンディング®

プロジェクトをさがす

応募寄付総額 11,257,480,191 円

ふるさと納税ガイド

お気に入り

寄付する

プロジェクトをさがす

応援メッセージ

GCF®とは

ふるさとチョイス

災害支援

TOP > 過去実績 > 「天空の駅」を発着するレトロなトロッコで、廃線を乗り越えて賑わいを取り戻したい！

「天空の駅」を発着するレトロなトロッコで、廃線を乗り越えて賑わいを取り戻したい！

カテゴリー: まちづくり



寄付金額

8,166,000円

102%

目標金額: 8,000,000円

達成率	支援人数	終了まで
102%	340人	受付終了

📍 島根県邑南町 (しまねけん おおなんちょう)

♡ お気に入り

このプロジェクトは終了しました

ツイート

いいね!

シェア

成果④事業拡大に伴いＪＲや周辺自治体の関わりも拡大

- ・JR西日本、広島県三次市の協力で鉄橋の活用開始(2021年～)
- ・集客力の向上で、収支が改善。マスコミ露出増え知名度も上がる



成果⑤関わり方の深まりと地域への広がり

- ・鉄道資産の保全活動など、地道な作業にも関係人口が参加
- ・遺産活用へ専門家集団の支援、助言（島根県技術士会）
- ・鉄道以外の地域の活動にも、江の川鐵道の関係人口が参加

芋の植え付け作業



枕木の交換



「関係人口」に着目した取り組みが
邑南町でさらに広がっています。

- ・おおなんDIY木の学校
- ・国史跡「久喜銀山」振興プロジェクト

おおなんDIY木の学校

空き家改修現場で「DIY講座」を開き、DIY愛好家を集めてリノベーション！



(専門科目 床の再生)

- 講座受講者が4年間で延べ200人
- DIY木の学校の舞台になった空き家5軒を改修
- 受講者から、二地域居住、活動拠点の開設者が誕生
- 舞台となった空き家への愛着が芽生え、繰り返し通うリピーターも出現

空き家5軒がゲストハウスやカフェなど活動拠点に！



ゲストハウスmikke

ゲストハウス コイサイド



私設図書館
「紙楽社」

合宿施設・
ふるさと道場



カフェ&ベッドうづい通信部



国史跡「久喜銀山」振興プロジェクト

- ・ 歴史に埋もれかけていた銀山跡の観光振興に向け、町外からの「草刈り応援隊」「遺跡のガイド」を養成



広島市でのガイドの担い手
向けの学習講座



修道大学学生による草刈り体験

邑南町にみる関係人口と地域再生の方向性

- ①解決する課題と関わりしるの設定
- ②関係人口を地域へ誘導する仕掛け
- ③関係人口が地域への貢献に満足感
- ④諦めかけた住民の「やる気」が再生
- ⑤「面白い・関わりたい地域」に変化
- ⑥住民、移住者、関係人口が行き交う

2022年度は、観光戦略に沿って
関係人口のアクセスポイントとなる
「関係案内所」設置に向け準備中。

ご清聴ありがとうございました。